



JTUC-aomori

No.401 2023年6月

れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 大澤祥宏 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

男女平等参画の意義を再確認し、課題や目標を共有！

2023連合青森女性役員研修会



連合青森男女平等参画推進委員会と女性委員会は5月27日(土)10時から青森市のアスパムにて「2023連合青森女性役員研修会」を開催し、18名が参加した。

この研修会は6月の男女平等月間を前に、連合青森として男女平等参画の意義について再確認するとともに、受任いただいている役員の方々に参画の価値を実感いただくことを目的に行われた。

男女平等参画推進委員会高橋博幸委員長は「日本の男女間格差が先進国で最下位となっている。特に職場でのセクハラを罰する法律がないなど労働分野でかなりの遅れをとっており、我々労働組合も一層の努力が求められ、足踏みをしている状況にない。今学習会でヒント・きっかけを見つけ、今後の原動力の一助にしていきたい」とあいさつした。

続いて学習会に入り、『ダイバーシティ&インクルージョン～ジェンダー平等な「理想の職場づくり」を考える～』と題し、労働組合歴12年、元連合栃木副会長であり、現在ワーク・ライフ・ユニオンバランスの代表を務める伊東晴美氏を講師に迎え、自身の組合経験も交え、やりがいや充実感を感じながら仕事(ワーク)と生活(ライフ)

と組合活動(ユニオン)の調和(バランス)を目指すために必要なことや、課題や壁となる潜在的意識などを学んだ。



高橋博幸委員長
あいさつ

グループワーク(4G)では女性が活躍できる理想の職場や働き方についてカードを使い、課題や目標を整理。グループ討議することにより働き方や職場に対する自己理解のみならず、他者理解も進み、その課題(欲求)が物質的なものか、精神的なものか明確となり今後の方向性を見出す学習会となった。

Gender Equality Month in June
6月は男女平等月間です。

知っていますか?

性自認
知っている 22.9%
知らない 77.1%

性的指向
知っている 38.6%
知らない 61.4%

まずは知ろう!
性的指向/性自認

性的指向 Sexual Orientation
人の恋愛感情や性的な関心がいずれの性別に向かうかの傾向(この傾向については、異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛等の多様性があります。)をいいます。

性自認 Gender Identity
自分がどの性別かの認識(この認識については、自分の生物学的な性別と一致する人もいれば、一致しない人もいます。)のことをいいます。

性的指向/性自認の差別を禁止しよう!

1380点もの食料品を青森県母子寡婦福祉連合会へ贈呈

連合青森「フードバンク運動」

第94回メーデー青森県中央祭典および、各地協メーデーでブースを設け、寄付を募った『フードバンク運動』。

組合員の皆さんから、パックごはんやカップ麺、缶詰や菓子、ジュース、災害用非常食など約900点もの食料品が寄せられ、5月18日（木）、ひとり親世帯の支援をしている（公財）青森県母子寡婦福祉連合会（秋田谷洋子会長）へ寄贈することとなった。

また、5月26日（金）、1組織から備蓄の役割を終えた災害用非常食480食が寄せられ、こちらも同連合会へ寄贈した。

この食料品は市町村組織などを通じ、ひとり親世帯に届けられる。

改めましてこの運動にご協力いただいた組合員の皆様に心より感謝申し上げます。



メーデー会場に持ち寄られた
たくさんのお食料品



備蓄の役割を終えた
たくさんのお災害用非常食

ストップ！児童労働 キャンペーン 2023



6/1
6/30

© Mercis bv

レッドカードアクションをお願いします！

労働組合とNGOで構成する児童労働ネットワーク（CL-Net）は毎年6月12日の「児童労働反対世界デー」を中心に「ストップ！児童労働キャンペーン」を実施している。連合も国際労働機関（ILO）の「児童労働にレッドカードキャンペーン」に賛同し、「レッドカードアクション」を重点的に展開していく。

このキャンペーンの1か月間、世界の子どもたちが置かれている今の状況が、少しでも明るくなるようにみんなで一緒に考え、取り組みましょう！

レッドカードアクション概要

●重点展開期間

2023年6月30日（金）まで

※児童労働反対世界デーは6月12日（月）

●背景・目的

世界の児童労働者数は1億6000万人以上にも及び、強制労働被害者全体の12%占めており、強制労働はもとより、強制結婚、性的搾取、人身売買の対象となる危険性に直面している現状にある。

多くの人に児童労働に対し問題意識を持っていただき、撲滅に向けて行動する仲間を増やす。

●参加方法

手順1 サイトからレッドカードを入手するか、ZOOM背景を設定する。

(<https://stopchildlabour.jp/2023/action/>)

手順2 レッドカードを掲げるか、背景にして写真を撮る。

手順3 写真にアクションの誓い宣言とハッシュタグ『#STOP CL』を付けSNSに投稿する。



2023年6月行動予定 6月10日現在

- 6月10日(土) 13時30分 県労働福祉会館
「アンコンシャス・バイアス学習会」
- 6月11日(日) 11時00分 県労働福祉会館
「ワークルール検定2023・春（初級）」

- 6月22日(木) 14時00分 青森労働局
「雇用における男女平等に関する要請」
- 6月23日(金) 15時30分 ワ・ラッセ
「連合青森推薦県議会議員との意見交換会」
- 6月29日(木) 18時 県労働福祉会館
「連合青森第2回役員選考委員会」